

言葉の力

岡 愛莉

っていいいな言葉遣いをしなさい
誰しも、一度は言われたことがあると思う。
しかし、私はそう言われるたび「なぜっていい
いな言葉遣いをしなくてはならないのだろう
と疑問が生まれるのである。

「言葉を話す」ということは人間が得た確
かな技術だと私は認識している。だが、この
技術を完全に使いこなせる人はめったにいな
いだろうし、とても難しいことだと思う。

私は母親に言葉遣いについて注意される。
そんなときに頭の中をよぎっていたのは「
いいいな言葉を使わなくても相手にだいたい
伝われば良い」ということ。そんなことを思
っていた数日後、スマートフォンで動画を見
ていたときのことである。ふと、コメント欄
を見ると心無いコメントをしている人がいた。
他にも「思ったことをコメントしたか」「ま
く伝わらずに言い合いやけんかになっ
ている

コメント欄を見たことがある。私は見ているだけで心が痛んだ。だとしたら、言い合いになっちゃってしまった人や動画の投稿者はきつと嫌な気持ちになり、中には心に深い傷を負った人もたくさんいるはずだ。そして、このような問題は友達とメッセージでやりとりをするときに起こることがある。私は中学生になり友達とメッセージでやりとりを始めた。そこで思ったことがある。「大丈夫」という言葉为例として説明しよう。この言葉を使う際

絵文字、ましてや主語がなかったらどうとらえるだろう。文脈で読み取れる場合もあるがもう少し細かく例えを出すとする。数人がやってるグループで「みんな明日遊べる？」と聞かれたときに「大丈夫」と答えたらどうだろうか。遊べるという大丈夫なのか、私は遊ばなくて大丈夫という意味なのか、人それぞれとらえ方は違うと思う。私だったらどの意味かわからず困ってしまいかもしれない。このような会話ならまだしも、誤解によって

相手や自分が傷ついてしまつたら、けんかや不仲になつてしまふ可能性も低くはない。そこで、顔の見えない相手とネットでコミュニケーションを取るとき、私なりに気を付けることを三つ考えた。

一つめは、想像力を働かせて相手の気持ちを考えながら送信すること。相手の気持ちを完全に理解することは出来ないが、どんなこととを言われて嬉しいか、嫌か想像することはとても大切なことだと思う。

二つめは、誤解が生まれずに正しく情報や言葉が伝わるか確認する。確認をしてもすれ違いが起きてしまうこともあるが、そのような場合は伝わるように説明し直し、謝ることも相手との仲を保つ秘訣だと思う。

最後に三つめは、動画のコメント欄のようにな誰もが目にするものでは、どんな人が見てもなるべく不快にならない言葉遣いをする。と。メッセージでは、相手に合わせた言葉を使うことだ。

私は、っていねいな言葉を使わなくても相手にだいたいい相手に伝われば良いという考えが変わった。っていねいな言葉遣いが出る人とは、相手が不快にならない言葉を使える人、目上の人などには敬語を使うように相手に合わせて言葉を変えらる人、伝わるように考えて発言・発信できる人だと思う。そして、これらをまとめて、思いやりのある人」を指すと私は考える。思いやりがあれば、ていねいな言葉遣いになり、自然と友達が増

えたり仲が深まったりするはずだ。私は誰にでもていねいな言葉遣いができる「思いやりのある人」になりたい。これから先たくさんの人と出会う中で、思いやりの気持ちを持て、相手と接することが出来るような尊敬できる人を見つけ、自分自身も成長していきたいと思う。

これから、私がていねいな言葉を使い、思いやりのある人になりたいと思わせてくれた親やすべての人に感謝の気持ちを伝えたい。